

公益社団法人日本青年会議所 九州地区 佐賀ブロック協議会

2017年度 第10回 会員会議所会議 議事録

日時:2017年10月28日(火)15:00～17:00

場所:佐賀青年会議所会館2階

議長 江口 尚登 君

- | | | |
|--------------------------------|------------------|---------|
| 1. 開会宣言 | 地域連携広報グループ 担当副会長 | 松尾 隆臣 君 |
| 2. JCIクリード唱和 | LOM連携広報戦略委員会 委員長 | 前田 純次 君 |
| 3. JCI mission並びにJCI vision 唱和 | 佐賀再興会議 議長 | 吉井 大樹 君 |
| 4. JC宣言文朗読 並びに 綱領唱和 | ブロック大会創造委員会 委員長 | 島内 陽輔 君 |
| 5. 佐賀ブロック運動宣言2011唱和 | 地域主権者意識醸成委員会 委員長 | 松雪 宏昭 君 |
| 6. 出席者の確認 | 事務局 局長 | 井内 政徳 君 |

【理事長出席者】

LOM名	氏名	出欠
一般社団法人 伊万里青年会議所 理事長	堤 悠樹 君	出席
一般社団法人 鹿島青年会議所 理事長	荒木 貴史 君	出席
一般社団法人 唐津青年会議所 理事長	橋本 達徳 君	出席
一般社団法人 佐賀青年会議所 理事長	関 洋太郎 君	出席
一般社団法人 武雄青年会議所 理事長	片渕 賢一 君	出席
一般社団法人 陶都有田青年会議所 理事長	山口 賢太 君	出席
一般社団法人 鳥栖青年会議所 理事長	菅原 賢史 君	出席

【役員出席者】

役職名	氏名	出欠	LOM
公益社団法人日本青年会議所 九州地区 佐賀ブロック協議会 2017年度会長	江口 尚登 君	出席	佐賀
直前会長	齊藤 正晃 君	欠席	鳥栖
顧問	井上 秋史 君	出席	武雄
監査担当役員	池田 智博 君	出席	武雄
監査担当役員	富田 裕樹 君	出席	唐津
監査担当役員	中島 健太郎 君	欠席	佐賀
地域経済グループ 担当副会長	川尻 由美 君	出席	鹿島
地域教育醸成グループ 担当副会長	山田 政利 君	出席	佐賀
地域教育育成グループ 担当副会長	馬渡 洋平 君	出席	武雄
地域連携会員拡大グループ 担当副会長	徳永 康宏 君	出席	佐賀
地域連携広報グループ 担当副会長	松尾 隆臣 君	出席	佐賀

組織運営グループ 担当運営専務	藤田 昌大 君	出席	鳥栖
佐賀再興会議 議長	吉井 大樹 君	出席	唐津
ブロック大会創造委員会 委員長	島内 陽輔 君	出席	佐賀
地域主権者意識醸成委員会 委員長	松雪 宏昭 君	出席	鳥栖
全うな日本人育成委員会 委員長	坂口 聡孝 君	出席	鹿島
会員拡大アカデミー委員会 委員長	金子 晴雄 君	出席	唐津
LOM連携広報戦略委員会 委員長	前田 純次 君	出席	武雄
財政局 局長	松尾 玖美 君	出席	佐賀
事務局 局長	井内 政徳 君	出席	佐賀

7. オブザーバー紹介

運営専務 藤田 昌大 君

有馬多貴也君(鳥栖JC専務)

神近友樹君(武雄JC専務)

滝本潤君(佐賀JC専務) 米田国生君、江崎正徳君、新居武君(佐賀JC)

太田順子君(唐津JC専務)

8. 資料及び議題の確認

運営専務 藤田 昌大 君

9. 議長選出

会長 江口 尚登 君

審議案件:江口会長、協議案件:藤田運営専務

10. 議事録作成人並びに署名人の指名

会長 江口 尚登 君

議事録作成: 事務局

署名人: 一般社団法人 鹿島青年会議所 理事長 荒木 貴史 君

一般社団法人 唐津青年会議所 理事長 橋本 達徳 君

11. 前回議事録の承認

会長 江口 尚登 君

【山口理事長】

問題ありませんでした。

【堤理事長】

指摘させて頂きました所修正されています。

12. 佐賀ブロック協議会会長挨拶

会長 江口 尚登 君

大変お忙しい中佐賀ブロック協議会第10回会員会議所会議にお集まり頂き誠にありがとうございます。また、本日は終了後ブロックファイナルという事で長丁場となりますが最後までよろしくお願いします。そして、日頃より青年会議所の活動にご協力頂いています事にも感謝申し上げます。また、多くのオブザーブ参加頂いています事も感謝申し上げます。今後とも佐賀ブロック協議会に対しまして変わらぬご協力の程よろしくお願いします。そして、本日がブロックファイナルという事で2017年度の締めくくりとなっています。今年度青木会頭が教育再生と経済再生による誰もが夢を描ける日本の回帰を基本理念として、佐賀ブロックでは運命を受け止め果敢に挑戦し新たな未来を描く自立した佐賀の実現を基本理

念として運動を展開して参りました。しかし、この運動は12月31日まで行っていくことをお約束致します。先月の会員会議所会議になりますが吉井議長が作成していた議案が取り下げとなりましたが、先々週講師の一人として呼び寄せていた武雄市長に面会と事業中止のお詫びに行き参りました。20分の面会時間だったのですが40分ほど熱い話をさせて頂き交流させて頂いております。抱える問題として武雄から長崎までのインフラというのはフル規格で通ります。武雄から鳥栖間がフリーゲージフル規格か在来線を使うかという課題の一つであります。佐賀ブロック協議会としては実現に向けて進めていこうと運動を展開して参りました。その中で色々なお話をさせて頂いたのですが新幹線という手法でそのあとのまちづくりが地域にとって必要な課題であります。その構想も武雄市長が抱えている夢、希望、構想をお話させて頂いて今後は地域で活動する例えば武雄青年会議所のまちづくりにも活動できる点もあったので報告させて頂く点と、長崎までの延長線上にある5市の市長が集う協議会があります。その協議会として今度12月になりますが片渕理事長がパネリストの一人として登壇されますのでご案内させて頂きます。今月開催されましたアカデミー事業は理事長を始めとする多くのメンバーに参加頂きましてありがとうございました。JCI3コースを学んだ今後担いをもつ豪傑な人材として育てた人間が第4回の事業にきっちりと今後のJCを見据えながら真剣な取り組んだ姿に今後が楽しみと思ったメンバーばかりであります。その際アカデミーソングを作成しましてすばらしいものが出来ていますので、ブロックファイナルのどこかで皆さんに披露できる機会があればと考えておりますので是非聞いて頂けたらと思います。JCI世界会議にも参加させて頂き菅原理事長に置かれましてはジャパンナイトで日本の伝統文化として相撲の格好までして頂きありがとうございました。日本青年会議所では日本の文化を世界に発信しようという事で、ジャパンナイトで催し物がありました。九州地区としても発信させて頂いたことをご報告申し上げます。JCI会頭が最後の言葉として I am JCI You are JCI We are JCI ということでJCIを身近に感じて頂く事が私たちの活動の一つであるということでもありますと言われました。日本JCでも上島先輩が世界会議に毎回参加されてお話をされた言葉があります。JCIの中に色々なNOM、国がありながら最初はグローバル化を進めるためにやっていた一方、時代が変わりナショナリズム的な考えも変わってきた点でもある。その中で地球人としてJCIの枠組みの中で昔からある誇りとかそういった繋がりを持って活動しているのではないかと。忘れていけないのがJAYCEEとして活動することを誇りに持ってくださいと仰っていました。話は変わりますが、今、何をしないといけないかと引継ぎはもちろんの事、自分が歩んだ道のりを振り返り初心に帰ることです。もう一度事業計画を読み返して振り返ってください。アップルのスティーブ・ジョブズの言葉に成功する人と失敗する人の違いは成功する人はすぐ諦めず情熱をもって成し遂げるという言葉があります。我々もこの通り情熱をもって最後まで担いを全うしなければならないと思っていますのでこのことを頭に入れて今後の活動をして頂きたいと思っております。

結びになりますが、本日の会議が実りあるものとなりますとともに、新たな未来を描くことがきっかけとなる一期一会の機会となることを切にお願い申し上げ私の挨拶とさせて頂きます。ありがとうございました。

13. 佐賀ブロック協議会直前会長挨拶 直前会長 齊藤 正晃 君
欠席の為、割愛。

14. 佐賀ブロック協議会顧問挨拶 顧問 井上 秋史 君

最後までよろしくお願い致します。この前の時間に次年度が開催されていたという事で引継ぎはしっかりお願いします。私も世界会議に参加させて頂きましたが、たまたま会わなかっただけです。なぜ世界会議はあるのでしょうか。我々は綱領で社会的な国家的なまたは国際的な責任を自覚しとありますが、国際的な責任を自覚する為の究極の会議だと思っています。例えば今話がありましたがインフラの問題、地域の雇用、医療福祉。その解決の為に問題と向き合ってニーズを生み出して地域社会の為に貢献しています。一方所属する国が違えば大小の問題に直面します。男女差別や肌の色の違いや貧困格差の問題とか、色々な問題があります。そういう問題に世界中で取り組んでいるメンバーがいるわけです。

これが他人事ではなく自分自身とすり替えて考え解決して参画していかなければならない。これがJAYCEEとして国際的な責任を自覚するという事に当てはまると思っています。そういう機会が2018年度には鹿児島県の地にて開催されます。どうか参画の程お願いしたいと思います。先日選挙が終わって皆様どういう印象を受けられましたか。自民党が大差で勝って想定内だった方も多いかとは思いますが、一番感じたのはリーダーとしての言葉の強さに尽きると思います。自民党の小泉進次郎議員が本人自身も出馬しますが全国55か所回っています。佐賀でも2か所回っています。彼は横須賀青年会議所に所属している一メンバーです。55か所回って10分程度の演説で何千万人という人の意識を変えたわけです。だからこそ自民党圧勝だったと私は思います。リーダー像と照らし合わせて自分についてくるメンバーにどれだけの言葉をかけてあげられるのか。言葉を掛けながら自分の中ではどういう戦略を冷静に練っていられるのかいざ動くときにどう動けるのか。改めてリーダーとしての資質を学ばせて頂きました。理事長の皆様方は理事長という担いが終わって2018年度の理事長にバトンを渡そうという期間に差し掛かっていると思いますが、2018年度の理事長が道に迷った時には直前理事長として支えて頂いて歩むべき道を示して頂ければと思います。また、役員の皆様も新しいステージに立っていかれるかと思いますが本年度佐賀ブロックで学んだ事を活かしながら理事長になられる方は組織を導いて頂けたらと思います。本日も最後までよろしくお願い致します。

15-1. 佐賀ブロック協議会 会長報告

会長 江口 尚登 君

本会理事会の報告、サマーコンファレンス議案の審議可決について

九州地区協議会の報告、九州地区大会の議案がすべて審議可決しております。

の報告がありました。

15-2. 会員会議所 理事長報告依頼事項

一般社団法人 伊万里青年会議所

理事長 堤 悠樹 君

報告に関しましては書面にて代えさせていただきます。その中で私自身先日まで東京に行っておりまして社会貢献者受賞という事で伊万里市のカブトガニを守る会という団体がありまして、毎年理事長があて職として副会長みたいな担いがあります。本来であれば団体の会長が参加されるところですが所要により参加が出来ず代理で出席してきました。JCでもそうですが受賞をされるために活動するのではないですが、自分たちが行ってきた運動が認められというのは嬉しいことだと思います。伊万里でも次年度の理事会がようやく開催され私も少しホッとしています。今年度も残り2か月となりましたが先ほどもありました通り12月31日までが2017年度です。私もそうですが皆様も気を抜くことなくしっかりと2017年度を満喫して最後まで運動を興して頂きたいと思います。本日も最後までよろしくお願い致します。

一般社団法人 鹿島青年会議所

理事長 荒木 貴史 君

報告に関しましては書面にて代えさせていただきます。鹿島では11月を持ってすべての委員会事業の方が終了致しました。私自身はまだ公務を残していますが、鹿島青年会議所としては例会、総会、卒業生を送る会を残すのみとなりました。本年は4名の卒業生がおりますので卒業生との時間というのを大切にしたいと思っています。すべてのLOMそうでしょうが2018年度がバトンを受けるべく準備が進んでいる所だと思います。2017年度としてしっかり輝かせ、背中を見せることが鹿島JCの発展に繋がっていくと話をさせて頂いている所であります。残りわずかとなりましたが最後までよろしくお願い致します。本日も一日よろしくお願い致します。

一般社団法人 唐津青年会議所

理事長 橋本 達徳 君

報告に関しましては書面にて代えさせていただきます。残すところあと一か月という事で私自身も残り一カ月に卒業させて頂

きます。会員会議所会議も今日を含めて残り2回となりましたが最後まで私の意志をしっかりと貫かせて頂いて臨みたいと思いますので、12月最後の会員会議所会議までよろしくお願い致します。本日も最後までよろしくお願い致します。

一般社団法人 佐賀青年会議所

理事長 関 洋太郎 君

本日は佐賀の地にて開催頂きまして誠にありがとうございます。報告は書面にて代えさせていただきます。その中で、11月に各委員会のメイン事業が終了しております。11月18日にまちづくり事業としまして地域の市民活動団体の皆様にプランニングから参加を頂きまちづくりの虎と題しマッチング事業を行いました。各企業、団体様と事業を通じて気づき、学びを得て頂く事業を開催しました。先週土曜日には薩長土肥の会という事で佐賀、高知、萩、鹿児島県の4つのLOMが山口の萩の地にて集まり開催させて頂き、来年明治維新から150年という記念すべき年を迎えています。そして、鹿児島青年会議所がASPACを主管されるという事で薩長土肥の会の中でも来年に向けた色々な動きがありました。我々佐賀青年会議所は各種大会にて頂いた気づき、学び。また、出会いを来年に向けて繋げて来年も頑張っていこうと思っておりますので引き続きよろしくお願い致します。本日も最後までよろしくお願い致します。

一般社団法人 武雄青年会議所

理事長 片渕 賢一 君

武雄の報告と致しまして11月25日に開催しました青少年事業で地域教育を考えると第1部に古川康様をお招きして基調講演。2部に武雄市長、市議、教育長、PTA会長等をお招きして地域が一体となって子どもの教育環境の向上に向けて取り組んでいくという事業を開催しました。今後も三位一体となって取り組んでいかなければいけないと感じさせられる機会でありました。この事業で武雄青年会議所の対外事業がすべて終了致しました。残りが例会、総会、卒業式となりましたが、先ほど会長からありました新幹線を活用したまちづくりシンポジウムという事で大きな担いがありまして気を引き締めていきたいと思った次第であります。報告は以上ですが、明日九州地区協議会の方で下君のフォーラムがありますので是非ご参加頂きます事をお願い申し上げ報告とさせていただきます。

一般社団法人 陶都有田青年会議所

理事長 山口 賢太 君

報告は書面にて代えさせていただきます。11月22日に例会を開催し現役に対してご協力頂いているOBさんに声掛けをし、今後について酒宴の中ではありましたが真剣な話をさせて頂きました。継続を望むのと同時に候補者が数名いますのでその話をしたところまだ目があるのであれば継続をして頂きたいとの声を頂きました。ただ、来年度に卒業したら今専務をしています庄村が一人になりますので一人に責任を負わせて解散という形にはできないので、いつでも解散できる形を同時に進めていくという事で話をさせて頂きました。来年、私と田代、庄村の3人でスタートとなりますが継続する意思は明確に伝えて動きたいと思っていますので各LOMにご協力をお願いする事があると思いますのでよろしくお願い致します。本日も最後までよろしくお願い致します。

一般社団法人 鳥栖青年会議所

理事長 菅原 賢史 君

報告は書面にて代えさせていただきます。前回の会員会議所会議には鳥栖で開催して頂いたに関わらず、欠席という形で申し訳ありませんでした。また、その後のアカデミー事業にも世界会議に出席のため欠席申し訳ありませんでした。次年度以降もコミットしていこうと思っておりますのでよろしくお願い致します。当LOMとしましては次回の例会にて卒業生を送る会と理事会で一年間を締めくくらせて頂きます。いよいよ2018年度の藤田理事長に引継ぐために会員拡大の部分でメンバーが30名で卒業生を除くと23名という現状ですので、今30名の会員を何とか今年度中にあと10名拡大をさせて頂いて引き継ぐという形で残り1か月理事長としての責任を全うさせて頂きたいと思っております。本日も最後までよろしくお願い致します。

15-3. 副会長・委員長報告依頼事項

【川尻副会長】

乳がんの為に8月より休養を頂きまして心配をおかけしておりましたが、不幸中の幸いで早めの段階で見つかったという事で転移もなく抗がん剤も必要なく復帰させて頂きました。残り2か月ですが最後までよろしくお願いします。お見舞いや温かい言葉本当にありがとうございました。

【島内委員長】

本日、終了後ブロックファイナルが開催されます。本年度行った報告と成果を発表させて頂き、次年度の引継ぎとして開催いたしますので最後までよろしくお願い致します。

15-4. 組織運営グループ報告依頼事項

【井内事務局長】

一般社団法人佐賀青年会議所 関理事長よりお菓子を頂いております。

16. 定足数の確認

事務局長 井内 政徳 君

7名中7名出席のため、本会議が成立する事をご報告致します。

17. 当日議題の採択

会長 江口 尚登 君

18. 審議事項

審-1 第42回佐賀ブロック大会inSAGA 「経世済民フォーラム」～インフラがもたらす佐賀再興～開催報告並びに決算(案)承認の件

【松尾財政局長】

→源泉の還付は終了しています。

【池田監査】

→問題ありません。

【菅原理事長】

・検証の作り方についてももう少し考えて欲しい。アンケートの検証になっているだけで目的の検証になっているのか。何を見て参加したかという設問だが、目的の検証ではない、あくまで参加員数の検証だ。各委員長には考えて欲しい。目的達成のための検証のツールとしてアンケートを使うことが大事。その事をもう少し考えて今後活かして欲しい。

→今後に役立てて参ります。

採決

賛成7 反対0 棄権0

審-2 第42回佐賀ブロック大会 inSAGA 「教育再生フォーラム～日本の誇りある歴史と文化～」開催報告並びに決算(案)承認の件

【松尾財政局長】

→特にありません。

【池田監査】

→問題ありません。

意見・質問なし。

採決

賛成7 反対0 棄権0

審－3 第42回佐賀ブロック大会inSAGA 全体スケジュール・PR事業報告並びに決算(案)承認の件

【松尾財政局長】

→特にありません。

【池田監査】

→問題ありません。

意見・質問なし。

採決

賛成7 反対0 棄権0

【島内委員長】

一丸となって取り組みました。ただ大会が終わったからと言って運動が終わったわけではありません。12月まで邁進して参ります。

審－4 生激論！あなたはどっち？～改憲VS護憲～事業修正計画並びに補正予算(案)承認の件

【松尾財政局長】

→特にありません。

【池田監査】

→問題ありません。

【菅原理事長】

中止までの時系列を見ておりますが、ブロックの会員会議所会議は理事長の議決のもとに運動を進めております。事業構築の中でブロック会長の判断のもとで中止とありますが、理事長の記載がありません。本来であれば中止までの経緯に理事長の皆様の了解があったかどうかというのを記載すべきだと思います。

→最終判断を9時とさせて頂き、副会長、会長踏まえて、天候の具合を判断して、理事長の皆様のご意見を伺った後に中止と判断しました。その後の来場者の方々も来られていたので事業を開催する運びとなりました。

【井上顧問】

・理事長の記載が本来であれば必要なのでは、と菅原理事長は言われています。

【山田副会長より補足】

→会長の方から理事長の皆様へご連絡頂いた確認の上、中止をする運びとなっております。

【菅原理事長】

・組織運営をする上での決定期間を通さずに判断する事もあるかと思います。大きく中止する場合はやはり理事長の皆様の対応をしっかりしないと、ブロック協議会として事業を変えて事後承認というのはあり得ない形です。電話連絡した事を分かるような形に残して頂きたい。各理事長の了解のもとに中止と判断とした、というのが分かる形にして頂きたい。

【山田副会長より補足】

→参考資料9番時系列 9月17日10時半の次に、10時40分に台風の危険性を考慮し理事長より中止の判断を仰いだ上での中止の旨を文言追記させて頂きます。時系列につきまして、再度理事長の皆様にはヒアリングを取ったということを記載した上での審議とさせて頂きます。

採決

賛成7 反対0 棄権0

審－5 生激論！あなたはどっち？～改憲VS護憲～事業報告並びに決算(案)承認の件

【松尾財政局長】

→特にありません。

【池田監査】

→問題ありません。

意見・質問なし

採決

賛成7 反対0 棄権0

審－6 第48回衆議院議員選挙公開討論会事業報告並びに決算(案)承認の件

【松尾財政局長】

→特にありません。

【池田監査】

→問題ありません。

意見・質問なし。

採決

賛成7 反対0 棄権0

審－7 2017年度 佐賀ブロック協議会 第2回・第3回アカデミー事業 事業報告並びに決算(案)承認の件
【松尾財政局長】

→特にありません。

【池田監査】

→問題ありません。

意見・質問なし。

採決

賛成7 反対0 棄権0

審－8 佐賀ブロック協議会防災事業「佐賀防災会議」開催事業修正計画並びに補正予算(案)承認の件
【松尾財政局長】

→特にありません。

【池田監査】

→問題ありません。

意見・質問なし。

採決

賛成7 反対0 棄権0

審－9 佐賀ブロック協議会防災事業「佐賀防災会議」開催事業報告並びに決算(案)承認の件
【松尾財政局長】

→特にありません。

【池田監査】

→問題ありません。

【橋本理事長】

・一発審議ですか。

→はい、審議を頂くため上程しております。

【井上顧問】

・ここは意見を頂く場ではありません。ジャッジをする場です。今日は審議を頂くため来ている筈ですので堂々と仰って下さい。

【松尾副会長】

→ご審議をお願いします。

【菅原理事長】

・一発で行くのであれば事前に議案をみて意見を言う場が欲しかったです。なかなか厳しい事業でありました。当初予定した計画と比べてどうですか。

→防災会議には当初計画から比べて、時間配分ミスがありました。80%はできたかなと思っております。

・素晴らしい自己採点ですね。参加する側としては厳しいというのが開催です。80%ということであれば次年度も同じような形で開催するのか。

次年度役を受ける人間がこの議案を判断材料とします。この議案では見出せないと思う。委員長が満足されているのであれば難しい。

【橋本理事長】

・アンケート結果体内5番、必要性に対して感じなかったが47%となっている。この事業自体が必要なかったのではないかと感じる。連携について必要と感じたと書いているが何をもって必要だと感じましたか。

→防災会議の必要性について、6割の方が感じて頂けなかったとあります。警察消防自衛隊との連携は難しいと思います。行政との連携がこの会議で必要だと感じました。社会福祉協議会との連携構築を主に考えておりました。

・防災に対しての初動体制などでは必要性和じていますが、この会議自体の必要性を感じていない。こういう形では無い方が良かったのではないかと。やり方が間違っていたのではないかと。

【井上顧問】

・広報についての引き継ぎの在り方を考えて頂きたい。例えば公開討論会など35%の方が来場しています。類似団体やもともと意識がある方の来場が多いです。本来は参加に至っていない65%に向けて発信すべき。いかにその方々を参画して頂くのか、そこを踏まえての引き継ぎをして頂くようお願いします。

上程棚上げ。

審－10 その他

なし

19. 協議事項

協－1 その他

なし

20. 討議事項

討－1 その他

なし

21. 報告事項

報－1 インフラ投資に関する署名活動実施状況報告について

意見・質問なし。

報－2 国旗掲揚運動の推進について

【橋本理事長】

来年も引き続き行うのですか。

→次年度も祝日を祝うという形で行っていきます。

本来の意味をGHQにより変更させられている休日の意義があります。本来の意味も調べてみてください。

報－3 2017年度佐賀ブロック協議会 広報誌発行について

意見・質問なし。

報－4 2018 JCI ASPAC鹿児島大会 第8回COC会議について

意見・質問なし。

報－5 新旧合同懇親会について

意見・質問なし。

報－6 その他

なし

22. 審議事項の確認

第1号議案 第42回佐賀ブロック大会inSAGA 「経世済民フォーラム」～インフラがもたらす佐賀再興～開催報告並びに決算(案)承認の件

挙手による採決の結果、全会一致にて原案通り承認可決されました。

第2号議案 第42回佐賀ブロック大会 inSAGA 「教育再生フォーラム～日本の誇りある歴史と文化～」開催報告並びに決算(案)承認の件

挙手による採決の結果、全会一致にて原案通り承認可決されました。

第3号議案 第42回佐賀ブロック大会inSAGA 全体スケジュール・PR事業報告並びに決算(案)の承認の件
挙手による採決の結果、全会一致にて原案通り承認可決されました。

第4号議案 生激論！あなたはどっち？～改憲VS護憲～事業修正計画並びに補正予算(案)承認の件
挙手による採決の結果、全会一致にて一部修正の上承認可決されました。

第5号議案 生激論！あなたはどっち？～改憲VS護憲～事業報告並びに決算(案)承認の件
挙手による採決の結果、全会一致にて原案通り承認可決されました。

第6号議案 第48回衆議院議員選挙公開討論会事業報告並びに決算(案)承認の件
挙手による採決の結果、全会一致にて原案通り承認可決されました。

第7号議案 2017年度 佐賀ブロック協議会 第2回・第3回アカデミー事業 事業報告並びに決算(案)承認の件
挙手による採決の結果、全会一致にて原案通り承認可決されました。

第8号議案 佐賀ブロック協議会防災事業「佐賀防災会議」開催事業修正計画並びに補正予算(案)承認の件
挙手による採決の結果、全会一致にて原案通り承認可決されました。

第9号議案 佐賀ブロック協議会防災事業「佐賀防災会議」開催事業報告並びに決算(案)承認の件
棚上げ。

23. その他

なし

24. 監査担当役員講評

監査担当役員 池田 智博 君

本日も長時間お疲れ様でした。今日の会議を見ていてももう少しスムーズな会議が出来ないかと感じました。このメンバーで会議するのは残り1回です。菅原次年度会長が次年度役員に今年度の会議を見に行こうと言って頂けるような背中を見せることがまずは必要かと思いますので今一度気を引き締めてやって頂きたいと思います。そして、頂いたご意見ありますが、本日ブロックファイナルで事業の発表をしたいと思います。今日言われた内容を今一度頭の中で整理して発信して頂きたいと思います。以上で監査講評に代えさせていただきます。

25. 次回開催日時・場所の確認

第12回役員会議

事務局長 井内 政徳 君

2017年12月13日(水) 19:00～21:00

会場:佐賀青年会議所会館

第11回会員会議所会議

2017年12月21日(木) 16:00～18:00

会場:武雄温泉ハイッ

26. 閉会宣言

地域経済グループ 担当副会長 川尻 由美 君

《議事録承認者》

一般社団法人 鹿島青年会議所

理事長 荒木 貴史 君 印

一般社団法人 唐津青年会議所

理事長 橋本 達徳 君 印